

Wi-Fi にしたら光回線はいらない？ ～ “線がない時代” の落とし穴にご注意～

先日「スマホ用に Wi-Fi 機器を設置し、パソコンも同じ Wi-Fi 接続で繋がった。LAN の線は取り外したので〈光〉回線契約は解約してもいいよね？」と



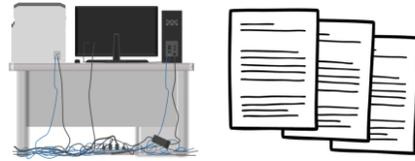
個人事業主のお客様から、ご相談がありました。

更にお話を伺うと、「電話回線」休止案内も届いたとのこと。「LAN の線は不要なので光契約も不要」と思ったとのこと。

皆さんはどう思いますか？



💡 「見た目」と「契約」は別問題



現代通信の基盤は、インターネット回線を「土台」としています。そしてパソコン・スマートフォン・電話などの電子機器が全て有線(LAN配線)又は無線(Wi-Fi)で繋がっています。

その主役が「光」通信回線！無線(Wi-Fi)の「大元」は光回線なので〈光〉契約は必ず必要です。
※ 最近は、〈光〉契約そのものが無線のケースも多くなっています。
電話も同様で、「ひかり電話」と呼ばれ〈光〉回線を介して利用されています。



〈光〉契約をよく判らずに解約すると会社すべての通信が使えなくなる事態となってしまうところでした。

🔴 どうしてこんなことが？
中小企業でのありがちなのが

- ・ 経営者が IT 不勉強で業者や若い担当者に任せっきり
- ・ 通信会社からの案内がよく判らないまま放置
- ・ 担当者が退職して契約や仕組み不明。

このような状態が重なると、気づかぬうちに“通信の命綱”を切ってしまう危険性があります。

今や、電話・パソコン・業務アプリ・複合機…すべてが《インターネットに繋がっている》ことが前提の時代。

だからこそ、「線は見えなくなっても、回線(契約)の整理確認は必要」です。もし「よくわからないまま放置しているかも」と思ったら、

一度ご相談ください。契約内容や構成を、わかりやすくご説明いたします！



光回線・Wi-Fi・電話契約の整理、通信インフラの見直しと仕組みと使い方、やさしくサポートします！

